

令和4年10月13日
住民接種担当部

オミクロン株対応ワクチン（BA. 4-5）への切替及び
乳幼児（生後6か月から4歳）の新型コロナワクチン接種について

1 主旨

国は、新型コロナウイルスのオミクロン株（BA. 4-5）と従来株に対応した、新たなファイザー社（12歳以上用）の2価ワクチン（以下、「BA. 4-5 対応ワクチン」という。）の国内配送を10月10日の週から順次開始する。これを踏まえ、区では、ファイザー社のBA. 1 対応ワクチンを使用している集団接種会場及び区内医療機関の個別接種で使用するワクチンを、10月下旬からBA. 4-5 対応ワクチンに切り替える。

また、乳幼児（生後6か月から4歳）の新型コロナワクチン接種について、近く関係法令が改正され、10月24日から適用開始される予定であることから、区において乳幼児に対する接種体制を確保する。

2 ファイザー社ワクチン（12歳以上用）BA. 4-5 対応ワクチンへの切替

(1) ワクチンの供給量

10/10 週から、BA. 4-5 対応ワクチンが順次供給される（10月13日から接種可能となる予定）。

■世田谷区への供給量

単位：万回

ワクチンの種類		9/19週	9/26週	10/3週	10/10週	10/17週	10/24週	10/31週	11/7週	合計
BA.1対応ワクチン	ファイザー	6.4	6.6	5	—	—	—	—	—	18
	モデルナ	0.7	0.7	0.7	1.3	—	1.4	1.4	—	6.2
BA.4/5対応ワクチン	ファイザー	—	—	—	3	12.2	—	12.3	—	27.5
合計		7.1	7.3	5.7	4.3	13.6	—	13.7	—	51.7

(2) 切替の考え方

BA. 4-5 対応ワクチンは、現在流行しているオミクロン株 BA. 5 を含む変異株に対して幅広い予防効果が期待されること、また、すでに承認されている BA. 1 に対応した現行のオミクロン株対応ワクチン（BA. 1 と従来株の2価ワクチン。以下、「BA. 1 対応ワクチン」という。）から、安全性が大きく変わる可能性は低いと考えられること、が報告されている。

このため、BA. 4-5 対応ワクチンが区に供給され次第、ファイザー社のBA. 1 対応ワクチンを使用している区の集団接種会場及び個別接種で使用するワクチンを BA. 4-5 対応ワクチンに切り替える。

モデルナ社の BA. 1 対応ワクチンを使用している北沢タウンホール及び旧二子玉川仮設庁舎 B 棟では、引き続きモデルナ社の BA. 1 対応ワクチンを使用することとし、今後のワクチン供給状況等を踏まえ、必要に応じて変更を検討する。

(3) 切替時期

①集団接種

ファイザー社 BA. 1 対応ワクチンを使用する以下の 11 会場の使用ワクチンを、10 月 25 日（火）から BA. 4-5 対応ワクチンに一斉に切り替える（10 月 17 日週から供給されるワクチンを活用）。

保健医療福祉総合プラザ、旧二子玉川仮設庁舎（A 棟）、世田谷文化生活情報センター、玉川区民会館、砧総合支所、烏山区民センター、宮坂区民センター、弦巻区民センター、代田区民センター、喜多見東地区会館、粕谷区民センター

②個別接種

10 月 19 日（水）以降、BA. 4-5 対応ワクチンを個別接種医療機関へ配送開始し、準備の整った医療機関から、使用ワクチンをファイザー社 BA. 1 対応ワクチンから BA. 4-5 対応ワクチンに切り替える（10 月 10 日の週に供給されるワクチンを活用）。

3 乳幼児（生後 6 か月から 4 歳）の新型コロナワクチン接種

(1) 実施概要（国の決定事項）

対象者	生後 6 か月から 4 歳の乳幼児
使用ワクチン	乳幼児用ファイザー社ワクチン
接種方法	初回接種として、 <u>3 回</u> の接種を受ける。1 回目と 2 回目の間は 3 週間、2 回目と 3 回目の間は 8 週間の間隔を空ける。
接種開始時期	近く関係法令が改正され、10 月 24 日から適用開始される予定
ワクチン供給	10 月 24 日の週から国内配送開始

(2) 区の対応

①接種計画

- ・接種見込者数は、生後 6 か月から 4 歳の乳幼児の人口約 3 万人（29,569 人。令和 4 年 9 月 1 日現在）の 5% に当たる 1,500 人 で見込む。
※参考：5 歳児の新型コロナワクチンの接種率は約 8%
- ・令和 4 年 11 月から接種を開始し、概ね 令和 5 年 3 月末 までに 1,500 人の方の初回接種（3 回分の接種）を完了する。
- ・乳幼児には新型コロナワクチン以外にも多くの予防接種があり、それらの接種スケジュールとの兼ね合いで新型コロナワクチンの接種時期を決めることになると考えられるため、接種日を定めて効率的に実施する集団接種にはなじまないことから、乳幼児への接種では集団接種は行わず、個別接種のみで実施する。

■乳幼児 接種計画数		接種計画数					
		合計	R4.11月	R4.12月	R5.1月	R5.2月	R5.3月
接種計画数	累計		1,120	2,425	3,435	4,125	4,505
接種計画数	各月	4,505	1,120	1,305	1,010	690	380
内 訳	1 回目	1,525	800	660	25	20	20
	2 回目	1,510	320	645	505	20	20
	3 回目	1,470	—	—	480	650	340

※接種見込者数約1,500人が初回接種として、3回分の接種を受ける想定で計画

②接種券の発送

5歳以上の接種と異なり、初回接種として3回分の接種券が必要となるため、システム改修や資材作成等の準備を速やかに行い、11月末までに一斉発送する予定である。

一斉発送前に接種を希望する方には、別途、申請により接種券を個別発行することとし、この受付を10月14日（金）から開始する。

③予約の受付、接種の開始

乳幼児への接種は個別接種のみの実施となるため、予約の受付は準備が整った医療機関から順次開始する。接種を実施する医療機関の一覧は、10月17日（月）に区ホームページに掲載する。

なお、区の予約システムは、現在、乳幼児への接種に対応した改修の準備中である。

医療機関へのワクチンの配送開始は11月上旬を予定しており、準備が整った医療機関から順次接種を開始する。

4 初回（1・2回目）接種について

国は、初回（1・2回目）接種（以下、「1・2回目接種」と言う。）に使用している従来型ワクチンの供給を年内で終了する予定としており、現時点で定めている新型コロナワクチン接種の事業期間である令和5年3月31日までに、希望する全ての方のオミクロン株対応ワクチン接種を完了するため、1・2回目接種の未接種者に対して、年内に1・2回目接種を完了することを呼び掛けている。

区でもこれを踏まえ、1・2回目の未接種者に対し、年内に接種を受けていただくよう周知を行っていく。

5 今後のスケジュール（予定）

（1）BA. 4-5 対応ワクチンへの切替

- 10月10日週 ファイザー社 BA. 4-5 対応型ワクチンの国内配送開始
- 10月19日以降 区内個別接種医療機関へのファイザー社 BA. 4-5 対応型ワクチン配送開始（準備が整った医療機関から順次ワクチンを切替）
- 10月25日 ファイザー社ワクチンを使用する区集団接種会場の使用ワクチンを BA. 4-5 対応型ワクチンに一斉切替

（2）乳幼児（生後6か月から4歳）の新型コロナワクチン接種

- 10月14日 乳幼児用接種券の事前発行の申請受付開始
- 10月24日週 乳幼児用ファイザー社ワクチンの国内配送開始
- 11月上旬 区内個別接種医療機関へ乳幼児用ファイザー社ワクチン配送開始
- 11月末まで 乳幼児用接種券の一斉発送

オミクロン株に対応した
2価ワクチンの接種が開始されました。



【第2報】

ワクチンの種類が増えました。 BA.1かBA.4-5の いずれか早く打てるワクチンで 1回接種をしましょう。



接種の対象と使用するワクチン



- 新型コロナの従来株とオミクロン株に対応したワクチン(「オミクロン株対応2価ワクチン」)の接種は、**初回接種(1・2回目接種)を完了した12歳以上の全ての方が対象で、一人1回接種**できます。
- 1・2回目接種を完了した12歳以上で最終接種から5か月(※)以上経過している方は接種可能です。
(※) 2022年10月7日時点。接種間隔の短縮等について検討し、10月下旬までに結論を得る予定です。
- 詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

〈 オミクロン株対応2価ワクチンの種類 〉	1・2回目接種対象者	3回目以降の接種対象者	
		12歳以上	18歳以上
ファイザー社ワクチン 【BA.1対応型／BA.4-5対応型】	× (使用不可)	12歳以上 ○	18歳以上 ○
モデルナ社ワクチン 【BA.1対応型】	× (使用不可)	18歳以上 ×	18歳以上 ○

(※) 2022年10月時点では、オミクロン株対応2価ワクチンは、11歳以下は接種対象となりません。



オミクロン株対応2価ワクチンの種類と特徴



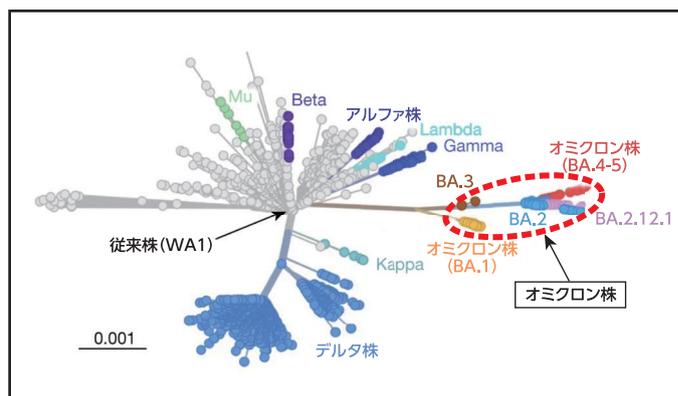
2種類の2価ワクチン(BA.1対応型／BA.4-5対応型)が使用可能ですが、いずれも従来型ワクチン(※)を上回る効果が期待されます。

(※) 新型コロナの従来株に対応した1価ワクチン

- 2価ワクチンは、従来株の成分に加え、オミクロン株の成分が含まれています。オミクロン株の成分に2つの種類(BA.1とBA.4-5)があるため、2種類のワクチンがあります。その効果は以下の通りです。

- BA.1、BA.4-5は、いずれもオミクロン株の種類(亜系統)です(右図参照)。そのため、BA.1対応型であっても、BA.4-5対応型であっても、現在流行の中心であるオミクロン株に対しては、1価の従来型ワクチンを上回る効果が期待されています。
- また、BA.1対応型であっても、BA.4-5対応型であっても、従来株とオミクロン株の2種類の成分があることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられます。

〈 新型コロナウイルスの変異株の枝分かれ(系統樹) 〉



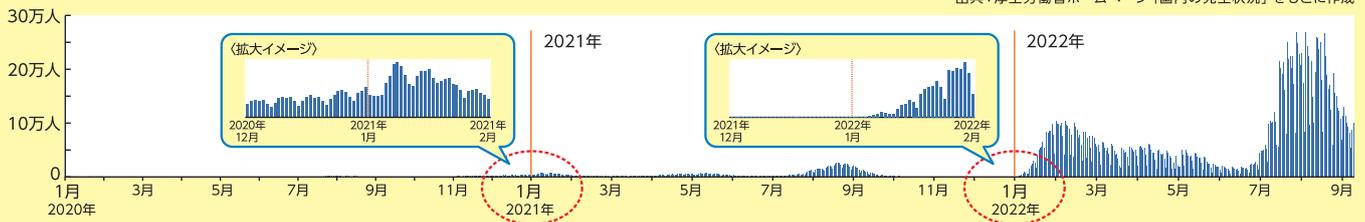
(※) 出典をもとに改変

出典: Wang, Q., Guo, Y., Iketani, S. et al. Antibody evasion by SARS-CoV-2 Omicron subvariants BA.2.12.1, BA.4 and BA.5. Nature 608, 603-608 (2022).



これまで2年間、年末年始に新型コロナは流行しています。2022年の年末までに、重症化リスクの高い高齢者等はもとより、**若い方にもオミクロン株対応2価ワクチンによる接種を完了するようおすすめします。**

〈日本国内の新規感染者数(1日ごと)〉



出典：厚生労働省ホームページ「国内の発生状況」をもとに作成

オミクロン株対応2価ワクチンの効果

■ 従来型ワクチンを上回るオミクロン株への効果が期待されています。

オミクロン株対応2価ワクチンの追加接種には、オミクロン株の成分が含まれるため、従来型ワクチンと比較した場合、オミクロン株に対する重症化予防効果、感染予防効果、発症予防効果それぞれに寄与する免疫をより強く誘導します。

そのため、オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る**重症化予防効果**とともに、持続期間が短い可能性があるものの、**感染予防効果**や**発症予防効果**も期待されています。

■ 2価のワクチンであることにより、様々な新型コロナウイルスに反応します。

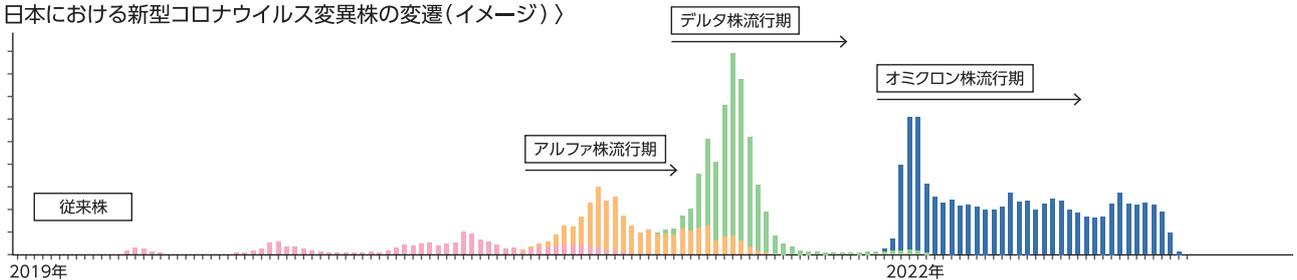
異なる2種類の抗原があることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられます。

そのため、**今後の変異株に対して有効である可能性**がより高いことが期待されています。

(※4) 2022年8月現在の科学的知見を踏まえた専門家の議論をもとに記載しています。今後、知見の蓄積等によりアップデートされる可能性があります。

出典：新型コロナワクチンの製造株に関する検討会 第二次取りまとめ

〈日本における新型コロナウイルス変異株の変遷(イメージ)〉



オミクロン株対応2価ワクチンの安全性

ファイザー社及びモデルナ社の2価ワクチンの薬事承認において、**どちらのワクチンも従来型ワクチンとおおむね同様の症状が見られました。**

〈接種後7日間に現れた症状〉

出典：特例承認に係る報告書より改編

発現割合	症 状	
	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	注射部位疼痛	注射部位疼痛、疲労
10~50%	疲労、筋肉痛、頭痛、悪寒、関節痛	頭痛、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、悪心・嘔吐
1~10%	下痢、発赤、腫脹、発熱、嘔吐	紅斑・発赤、腫脹・硬結、発熱

◎ ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎ 予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村等にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索

